

PRESS RELEASE

「m-FILTER」が OPSWAT の「MetaDefender Core」と連携し 添付ファイル無害化に対応

～自治体ガイドラインにも対応した、安全かつ効率的なメールセキュリティ対策を支援～

情報セキュリティメーカーのデジタルアーツ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:道具 登志夫、以下 デジタルアーツ、証券コード 2326)は、メールセキュリティ製品「m-FILTER」と、OPSWAT JAPAN 株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:皆川 文哉、以下「OPSWAT」)が提供する、先進的脅威防止ソリューション「MetaDefender Core」との連携が決定したことを発表します。



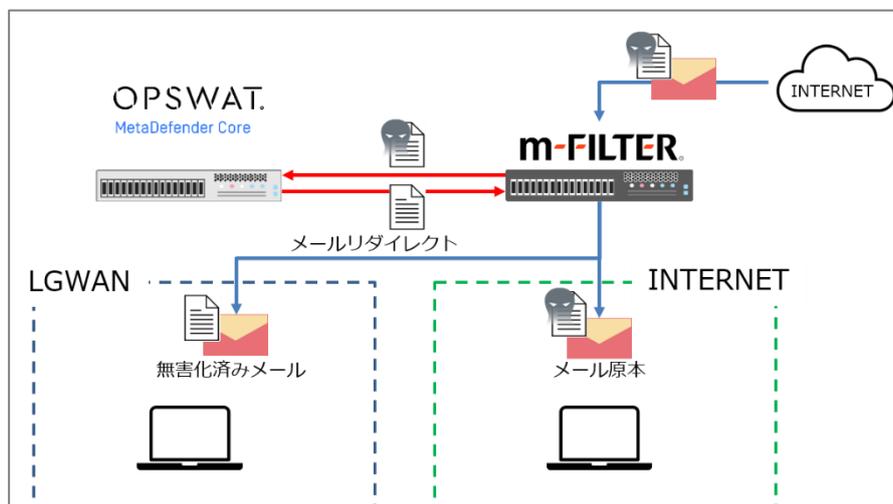
「m-FILTER」と OPSWAT の「MetaDefender Core」の連携で添付ファイルの無害化に対応 2021年11月より提供開始

メールセキュリティ製品「m-FILTER」は、「ドメイン」と「IP アドレス」の組み合わせをデータベース化し、安全なメールのみを受信するメール攻撃対策製品です。「添付ファイルマクロ除去」、「添付ファイル削除」、「HTML/リッチテキストメールのテキスト化」、「リンク無効化」、「メールリダイレクト(二重配送)」といったメール無害化機能に加え、2017年9月に提供開始した最新バージョン(Ver.5)では、メールの送信元・本文・添付ファイルの偽装判定など外部攻撃対策機能を強化し、多くの自治体様・企業様にご利用いただいております。

しかし近年、標的型メール攻撃は増加傾向であり^{*1}、受信メールのセキュリティチェックの重要度は更に高まっております。

また、2020年12月に改定された、総務省「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」では、メールに添付されたファイルは「ファイルを一旦分解した上で危険因子を除去した後、ファイルを再構築し、分解前と同様なファイル形式に復元する」というファイル無害化の方針が明記されました。

こうした状況を受け「m-FILTER」Ver.5は、明確な CDR(Content Disarm and Reconstruction/コンテンツの非武装化と再構築)技術を活用した OPSWAT の「MetaDefender Core」と連携し、2021年11月より提供開始いたします。これにより、従来のメール無害化に加えて、業務に支障なくファイルの危険因子を取り除き再構築する、ファイル無害化が可能となります。「MetaDefender Core」のファイル無害化機能「Deep CDR」は、“Trust no file. (如何なるファイルも信用しない)”という前提に基づき、危険因子を潜ませることができファイルの構成要素を、設定により柔軟に削除・無効化し、ファイル形式を維持したまま安全な要素で再構築します。Microsoft Office や PDF ファイルをはじめ、画像、動画、CAD ファイル、アーカイブファイルなど、国内で普及しているファイルタイプも含め、通常業務で利用される 115 種類以上のファイルタイプを再帰的に処理します。



「m-FILTER」と OPSWAT「MetaDefender Core」の連携イメージ

更に、「m-FILTER」Ver.5 の「強制パスワード検査機能(特許取得済:特許 6882217 号)」と併用いただくことで、ZIP パスワードロックのファイルを無害化可能となります。

デジタルアーツは、本連携により、「m-FILTER」をご利用の 400 を超える自治体様をはじめ、より多くの自治体様のセキュリティ対策を支援すべく、更なる製品機能向上を目指してまいります。

※1 警察庁「令和 2 年上半期におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」によると、警察庁が把握した標的型メール攻撃の件数は 3,978 件で、前年同半期の 2,687 件より高い件数で推移している。

■エピソード

OPSWAT JAPAN 株式会社 代表取締役社長 皆川 文哉様

OPSWAT Japan 株式会社は、この度の、デジタルアーツ株式会社様の「m-FILTER」販売開始の発表を心より歓迎いたします。

インターネットアクセスに伴う危険を未然に防止する情報セキュリティソリューションを創出されるデジタルアーツ様のメールセキュリティ製品「m-FILTER」と、ゼロトラストの理念で、高度化・巧妙化する脅威から、世界の政府・自治体をはじめとする重要インフラを保護している OPSWAT の MetaDefender Core のシームレスな連携により、極めて高い防御ソリューションが実現しました。

MetaDefender Core は、115 種類以上のファイルタイプに対応し、ファイル内の要素を再帰的に無害化する「Deep CDR (コンテンツの非武装化と再構築技術)」、最大 30 種類以上のマルウェア対策エンジンの同時利用で高い検知率のウイルススキャンを行うマルチスキャン技術「Metascan」等、先進的な脅威防止技術を搭載し、国内の政府・自治体・エンタープライズ市場への導入が急激に拡大しています。

この度の連携強化が、お客様の様々なセキュリティ課題の解決に寄与し、より一層の安全なネットワーク社会づくりへ貢献できることを期待しております。

OPSWAT JAPAN 株式会社 概要

2002 年に設立した OPSWAT は、ファイル無害化、マルチスキャンのリーディングカンパニーとして、世界の重要インフラをはじめ 1500 以上の組織へセキュリティソリューションを提供しています。日々高度化・巧妙化するサイバー攻撃から組織を守るために、ゼロトラストの理念「Trust no file. Trust no device.」(如何なるファイルもデバイスも信用しない)のもと研究開発を続け、世界のテクノロジー、チャネルパートナーと共に製品・ソリューションを提供しています。OPSWAT Japan 株式会社は、OPSWAT のグローバル展開フェーズにおいて子会社として 2018 年に設立され、自治体・教育委員会をはじめ政府、製造、金融、エネルギー、ヘルスケアなどのお客様へパートナーとの協業・連携により、付加価値のあるサイバーセキュリティソリューションを提供しております。

<https://www.opswat.jp/>

<サービスに関するお問い合わせ>

デジタルアーツ株式会社 (E-mail: sales-info@daj.co.jp)

▼メールセキュリティ製品「m-FILTER」Ver.5 の詳細はこちら

<https://www.daj.jp/bs/mf/>

デジタルアーツ株式会社 概要

Web、メール、ファイルなどのセキュリティソフトウェアの提供を核に事業展開する情報セキュリティメーカーです。1995 年の創業以来、「より便利な、より快適な、より安全なインターネットライフに貢献していく」を企業理念とし、有害情報の閲覧を制限する Web フィルタリングソフトを開発、以来企業・公共・家庭向けに情報セキュリティ製品を提供しております。

東京都千代田区大手町 1-5-1 大手町ファーストスクエア ウェストタワー14F

URL: <https://www.daj.jp/>

<本リリースに関するお問い合わせ>

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴う在宅勤務実施中のため、お問い合わせ先は下記とさせていただきます
デジタルアーツ株式会社 広報担当 山田 (TEL : 090-1555-7254 / E-mail : press@daj.co.jp)

※ デジタルアーツ、DIGITAL ARTS、i-FILTER、info board、Active Rating System、D-SPA、NET FILTER、SP-Cache、White Web、ZBRAIN、クレデンシャルプロテクション、m-FILTER、m-FILTER MailFilter、m-FILTER Archive、m-FILTER Anti-Spam、m-FILTER File Scan、Mail Detox、m-FILTER EdgeMTA、EdgeMTA、FinalCode、i-フィルター、DigitalArts@Cloud、Desk@Cloud、Desk、D アラートおよび D コンテンツその他の弊社・弊社製品関連の各種名称・ロゴ・アイコン・デザイン等はデジタルアーツ株式会社の登録商標または商標です。

※ その他、本書に記載されている各社の社名、製品名、サービス名およびロゴ等は、各社の登録商標または商標です。